



発行責任者
初村 一郎

【校長室より】

『一人一秒のプレゼント』

今年は、新型コロナウイルスの影響で夏季休業中の授業日を延長せざるを得ず、御負担をおかけしました。おかげさまで、各家庭の御協力により、生徒たちは厳しい暑さにも負けず、学習と部活動の両立を見事成し遂げ、これまでの遅れを取り戻す絶好の機会となりました。改めて感謝申し上げます。

いよいよ9月は、待ちに待った体育祭・五高祭が予定されています。1学期に様々なイベントが中止になったことで、ここにかかる生徒たちの思いは例年にも増して大きいようです。特に今年は、創立120周年記念の冠付きの祭典になりますので、準備にも熱が入っています。コロナ禍で規模を縮小しての計画となり、すべての保護者、地域の皆様に披露できないのが残念ではありますが、120周年限定の企画も盛り込むなど、特に、辛い経験をしてきた3年生が一生の思い出にできるよう立派な祭典にしてやれればと考えています。

ここで、祭典前にぜひ読んでもらいたい話を紹介したいと思います。4年前になりますが、九州地区高等学校PTA連合会長崎大会の講演で聞いた「一人一秒のプレゼント」という話です。

マサと呼ばれている男の子がいた。マサは右足が不自由でいつも足を引いていた。だけど体育の授業にもサッカーの練習にも参加するがんばり屋である。

運動会が近づき、クラス対抗リレーの練習が始まった。

そんなある日、マサがしょんぼりして職員室に来て、担任の太田先生に「僕、クラス対抗リレーには出ません」と言う。

黙っているマサを説得して、理由を聞き出すと、マサはクラスの一部の子たちが「マサがいる限り僕らのクラスは一等になれっこない」と話しているのを偶然に聞いてしまった。

そこで先生に「僕はやめる。僕が走ると負けるから」と言いに来たのだった。

翌朝、太田先生はクラスみんなにマサがリレーに出ないと言っていることと、その理由を説明し、最後に「リレーはみんなが力を合わせる事が素晴らしいんだよ。大切な友達を傷つけて優勝したって何がうれしいの」と、問いかけた。

すると、一人の男の子が立ち上がって、こう叫んだのだ。「マサ走れよ。クラスみんなが一人一秒ずつ速く走れば、38人で38秒速く走れる。そうしたら勝てるぞ」

その日から子どもたちは、それは必死になって、スタートからバトンタッチの練習をする。

そして、運動会の当日、マサは歯を食いしばって、自分の距離を走り抜いた。クラスみんなも、マサに一秒をプレゼントするために必死で走る。よそのクラスは転ぶ子がいたり、バトンを落とすミスも出て、なんとマサのクラスに優勝が転がりこんだ。

太田先生は涙の向こうの子どもたちの笑顔がまぶしくて仕方がなかった。

(奥村久美子「一人一秒のプレゼント」～「ありがとうを伝えたい第2集」芸術生活社より)

私にとって、すごく心に響く内容でした。まさにこの気持ちを共有し、協力しながら体育祭・五高祭を立派に作り上げていく五高生であってほしいと願います。

学校においても、家庭や地域においても、心の教育を大切にしながら、子どもたちの成長を見守っていかれたらと思います。

平和学習

今年も8月9日、長崎の原爆の日に平和学習が行われ、初めに被爆者の証言をもとに作成された動画を視聴し、原爆の恐ろしさを改めて知るとともにその恐ろしさを伝えるためにはどうすればよいのかということを考えました。続いて、海外の紛争の状況を描いた動画を視聴し、最後に令和2年度長崎市平和宣言を校内放送を通して聴き、平和を尊ぶ気持ちを新たなものとししました。そして最後に動画や宣言の内容を踏まえて、全世界の人々が笑顔で過ごせる世界を作るために必要なことは何か、また、私たちができることは何かという問いについて考えました。

以下は生徒が考えたこの問いに対する答えの一部を紹介します。

私は自分が幸せで楽しいと感じるときに笑顔になる。これは全世界の人と同じだろう。しかし、“幸せ”というものを感ずる場面は人それぞれだ。民族や宗教によってだけでなく、“人が幸せだと感じるタイミング”は一人一人違う。だから、全世界の人々みんなが幸せになれることはできないと私は思う。けれども少なくとも戦争や紛争が終わったら、明日を迎えることができるのかさえ不安な地域に住む人たちは“ホッと一息つける”のではないだろうか。私はこの“ホッと一息つける”安心できる世界にしたい。それに必要なのは武力に頼らず言葉や行動で国民を導ける人だと思う。言葉にすることが難しいこともあるが、私はまず身近な人たちと“言葉で”笑顔になりたい。(1年生)

世界中の人々が笑顔で過ごせるようになるためには、戦争がなくなるだけでなく、飢餓・差別などの問題を解決していかなければならない。人のことを考えることができれば、戦争はなくなる。でも正直、それは難しいことだと思う。まずは、戦争がどんなに恐ろしいものなのか、私たち一人一人が知る必要がある。世界で唯一の被爆国である日本の中でさえ、平和への意識は差があるし、広島、長崎に住む人以外は、戦争(原子爆弾)について、広島、長崎に住む人に比べるとあまり知らないという事をよく聞く。だからまずは、過去に何があったのか、戦争をどれだけ人々の命を奪ったのか知ることが大切だと思う。私たちは今幸せに生活できている。だからまず、そのことに感謝すること、そして、周りの友人や家族のこと、相手のことを考えて、思いやりを持って生活したい。相手のことを思いやることは、みんなにできることだと思う。(2年生)

世界には宗教、民族、文化など多くの違いがあります。1つの国の中でも、宗教・民族・文化などが違うことがあって、それらが紛争や内戦の原因になっています。確かに自分の考えを違くと認めるのは難しく、自分にとって異質なものを受け入れたくないという気持ちはだれでもあると思います。しかし、そればかり考えていたらいつまでたっても状況は変わりません。自分たちとは「違う」、「異質だ」ということばかりにとらわれて虐げるのではなく、自分たちとは「違う」けど、その人たちにもその人たちの感じ方、考え方があることを理解し、認めることが大切だと思います。様々なことにおいて、他者との違いは絶対にあるし、たくさんあると思います。違いがあってもいいということを忘れず、他者を認められるように広い視野を持って物事を見ていきたいと思っています。(3年生)

今年も体育祭・五高祭でPTAバザーを実施します！

・体育祭(9月6日)

○飲料バザー

会場で冷たいドリンクを1本120円で販売(お得です！)



・五高祭(9月13日)

○リサイクルバザー、飲料バザーのお知らせ

時間：9:30~13:30

場所：軽スポーツ場

商品について：○リサイクルバザー お楽しみに！

○飲料バザー 冷たいドリンク1本120円